国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙,目次,あいさつ,編集後記,奥付

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2017-03-15
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/913

国立国語研究所 第4回NINJALフォーラム

日本語文字・表記の難しさとおもしろさ

基調講演

漢字とどうつきあうか 阿辻哲次

「自由度」こそ日本漢字の魅力小駒勝美

放送と漢字 柴田 実

文字の認知単位横山部一

学校における表記の非日常性 棚橋尚子

漢字:その魅力にひそむエンドレス感 シュテファン・カイザー

パネルディスカッション

日本語文字・表記の難しさとおもしろさ

阿辻哲次/小駒勝美/柴田 実/横山詔一/棚橋尚子/シュテファン・カイザー/高田智和(司会)

あいさつ

影山 太郎(国立国語研究所所長)

国立国語研究所 第4回NINJALフォーラム

日本語文字・表記の難しさとおもしろさ

目次

♦ あ	いさつ・・・				1
景	/山太郎				
▲ #	三田 三井 2 中				_
	調講演··				2
Bi	可 辻哲次	漢字とどうつ	きあうか		
◆講	演				
力	、駒勝美	「自由度」これ	そ日本漢字	の魅力 …	10
岩	美田 実	放送と漢字			15
		文字の認知			
		学校における			
		・カイザー		and the same	
		漢字:その鬼	力にひそ	むエンドレス	感
					41
◆ハ	パネルディス	カッション ・・・・			42
司	会●高田智	冒和			
ß _न	[辻哲次/月	卜駒勝美/柴田	実/横山韶-	一/棚橋尚子/	
シ	ュテファン・オ	カイザー			

の観点など、さまざまな観点から多彩な共同研究を行っています。研 申します。 経ち、言語学的な観点、伝統的な国語学・日本語学の観点、日本語教育 皆さま、ようこそいらっしゃいました。国立国語研究所所長の影山と 大学共同利用機関としての国立国語研究所は、発足してから二年が

究成果をできるだけ早く皆さまにお届けするため、今日のような公開

講演会を定期的に年二回ほど開催しています。

このような公開講演会を開くと、「次はこれこれのテーマで開いてほにかってい」というご希望が出てきます。希望が多いのは、何と言っても漢字の問題です。それだけでなく、研究所では日常、手紙や電話等で日本語の使い方について「これが正しいのかどうか」といった質問・相談をたくさん受けます。中でも多いのが漢字の読み方や使い方に関する質問で、これで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からゲストスで文字・漢字を専門にしている所員だけではなく、各方面からが表している。

言語はおそらくほかにありません。言語学・文字学の専門家であるス字なども含めてさまざまな表記方法を駆使していますが、このような思われます。すなわち、私たちは日ごろ文章を書くときに、漢字、平仮思われます。すなわち、私たちは日ごろ文章を書くときに、漢字、平仮思われていますが、一つの言語の中に複数の文字体系があり、しかもと言われていますが、一つの言語の中に複数の文字体系があり、しかもと言われていますが、一つの言語の中に複数の文字体系があり、しかもと言われていますが、一つの言語の中に複数の文字体系があると言語はおそらくほかにありません。言語学・文字学の専門家であるス字なども含めて音数十種類の文字があると言語はおそらくほかにありません。言語学・文字学の専門家であるス字なども含めて音数十種類の文字があると言語はおそらくほかにありません。言語学・文字学の専門家であるス字なども含めていますが、



影山 太郎

大著の中で、「日本語の文字体大著の中で、「日本語の文字体に存在したことがないほど特殊で複雑である」と述べていま殊で複雑である」と述べていま見れば、日本語で四種類の文字が使われるのは複雑で奇妙

ティーヴン・フィッシャーも、その

問題があっても、非常に便利なものです。なことかもしれません。しかし実際に使っている私たちにとっては、多少

[ka]という発音を表します。漢字は表意文字で、意味あるいは単語を [ka]という発音を表します。漢字は表意文字で、意味あるいは単語を 表します。この区別は、私たちの脳の活動からすると、非常に重要な意 れていると、いったんそれを言葉として読んでから、意味を解釈すること になります。この区別は、私たちの脳の活動からすると、非常に重要な意 でが区切れになるのかを見極め、その後で、まとまりをつなぎ合わせな がら意味を解釈していくという二段構えの操作を強いられます。平仮 名ばかりの文章(しかも、単語のまとまりごとに分かち書きをしない文 名ばかりの文章(しかも、単語のまとまりごとに分かち書きをしない文 名が読みづらいのは、そのせいです。

理解に重要な役割を果たしているのです。

世解に重要な役割を果たしているのです。

「さいることです。例えば、ある種の失語症の人に文字を見せる場合、「ういることです。例えば、ある種の失語症の人に文字を見せる場合、「うみ」と平仮名で書いたものを見せてもなかなか意味をつかんでくれませんが、「海」という漢字を見せたらすぐに分かってもらえた、といった実験結果があります。そのような実験結果からも分かるように、漢字と呼ば名の使い分けは、私たちが普段意識している以上に、日本語の意味を記れて、ところが、漢字の場合は、ぱっと見ただけで意味が読み取れ、脳の処理ところが、漢字の場合は、ぱっと見ただけで意味が読み取れ、脳の処理ところが、漢字の場合は、ぱっと見ただけで意味が読み取れ、脳の処理ところが、漢字の場合は、ぱっと見ただけで意味が読み取れ、脳の処理ところが、漢字の場合は、ぱっと見ただけで意味が読み取れ、脳の処理ところが、漢字の場合は、ぱっと見ただけで意味が読み取れ、脳の処理ところが、漢字の場合は、ぱっと見ただけで意味が読み取れ、脳の処理ところが、漢字の場合は、ぱっと見ただけで意味が読み取れ、脳の処理ところが、漢字の場合は、ぱっと見ないを見ないでは、またが、一般にはいる。

ただきます。最後までお楽しみください。で、特に「漢字の多様性」を共通テーマとして、六人の専門家にお話しいで、特に「漢字の多様性」を共通テーマとして、六人の専門家にお話しい今日は、世界的に見てもユニークで貴重な文字体系を持つ日本語の中

編集後記

平成23年9月11日、第4回NINJALフォーラム「日本語文字・表記の難しさとおもしろさ」を一橋記念講堂にて開催しました。フォーラムの開催趣旨は次のとおりです。

世界の諸言語の中で、日本語の文字・表記は最も複雑だと言われている。使っている文字も、平仮名、片仮名、漢字と3種類を駆使しているのは、日本語だけである。このことは、和語には平仮名、漢語には漢字、外来語には片仮名のように、文字表記表現としての豊かさを示しているとともに、漢字の異体字や、送り仮名・仮名遣いなどの使い分けの原因ともなっており、学習や実務での不合理さとして言及される。本フォーラムでは、印刷、放送、心理学、国語教育、日本語教育の専門家を迎えて、日本語文字・表記の難しさとおもしろさ、将来の展望について考える。

この冊子には、フォーラム当日の基調講演1本、講演5本、パネルディスカッションを収録しました。今回のフォーラムが、日本語の文字・表記についてより深く考えるきっかけになれば幸いです。

国立国語研究所 高田智和



NINJALフォーラムシリーズ 2 国立国語研究所 第4回NINJALフォーラム

日本語文字・表記の難しさとおもしろさ

2012(平成24)年6月29日 発行:人間文化研究機構 国立国語研究所 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2 TEL 042-540-4300 FAX 042-540-4333 http://www.ninjal.ac.jp

撮影 田保橋 良

印刷 ヨシダ印刷株式会社



